



会 報

留学生・奨学生地域交流集会を今年も開催！

日本で学ぶ外国人留学生と主として日本学生支援機構の奨学金を貸与されている日本人学生との交流の場としての「留学生・奨学生地域交流集会」を日本学生支援機構と共催で、今年是全国6箇所で開催しました。

留学生139名と日本人学生225名合わせて364名が参加、グループに分かれてのディスカッションや互いの社会や文化の紹介などで、有意義な交流がありました。

北海道・東北地区

日 程； 8/26（金）～8/28（日）

会 場； 北海道立洞爺少年自然の家

参加者； 学生52名（留学生231+日本人学生21） スタッフ9名 計61名

ハイキング、
洞爺湖の眺望

宝物を探
サウナー
クラリー

関東地区

日 程； 8/13（土）～8/15（月）

会 場； 国立赤城青少年交流の家

参加者； 学生95名（留学生39+日本人学生56） スタッフ20名 計115名

東海地区

日 程； 9/17（土）～9/19（月）

会 場； 国立乗鞍青少年交流の家

参加者； 学生36名（留学生15+日本人学生21） スタッフ11名 計47名

異文化理解

絆

ちがう価値観の相手と
も互いに認め合うこと

北信越地区

日 程； 9/23（金）～9/25（日）

会 場； 長野県須坂青年の家

参加者； 学生17名（留学生4+日本人学生13） スタッフ7名 計24名

近畿地区

日 程； 9/2（金）～9/4（日）

会 場； 国立淡路青少年交流の家

参加者； 学生74名（留学生26+日本人学生48） スタッフ21名 計95名

グループワーク
トレーニング

ドミノ
倒し

中国・四国・九州地区

日 程； 8/26（金）～8/28（日）

会 場； 国立江田島青少年交流の家

参加者； 学生90名（留学生24+日本人学生66） スタッフ16名 計106名

このページと次ページの下段にかけて、地域交流集会参加者の感想文とスナップ写真を一部ですがご紹介します。ただし紙面の都合上、一部編集(短縮)させていただきました。ご了承ください。

感想文

Uさん(近畿地区参加。日本人学生)

日常生活では経験できない事ばかり体験したと思います。国籍や大学、性別も関係なくコミュニケーションをとる事ができて想像した以上に楽しみました。

正直、2泊3日と聞いて、「知らない人と初めて会って不安だし、3日間は長いな...」と思っていました。でも、その気持ちは2日目には消えていて、今日振り返ると...短くて、でもとても充実した3日間だったなと感じます。逆に3日間はすごく速くてあっという間でした。

台風の影響で、大荒れな天候の中開催されたからこそかもしれませんが、一人ひとりが「楽しもう」「満足した3日間を過ごそう」という気持ちが全てのイベントの瞬間に感じられて、すぐに打ち解けられ、絆を実感できました。(スタッフも含めて)日頃、交流のない人と話し、触れ合い、語り合えた事は、私の中でかけがえない経験になりました。新しい自分に出会えた気がします。

-KIZUNA-共に生きよう

Nさん(関東地区参加。留学生)

国立赤城青少年交流の家で初めて出会った人々とすばらしい3日間を過ごしました。日本のいろいろな地域や様々な国から来た違った文化や物の考え方をを持った人々と接することができ、友だちがたくさん増え自分の世界が広がりました。また、豊かな経歴や多様な価値観を持ったスタッフの方々とも交流ができ、大変勉強になりました。

テーマ別活動ではウオークラリーをやりました。森の中を歩いて箱に入った宝物を探しました。その宝物は「絆」という文字でしたが、皆で力を合わせて見つけ出す中で「絆」は皆の心の中にあることに気づきました。

夜、キャンドルファイヤーをやりました。「世界に一つだけの花」の歌声の中、暗い講堂に一点、二点と火がつき始めました。火の光が伝わり最後には光の輪ができました。人は一人では生きてゆけない、この世界に一つだけの花、即ち自分の命を大切にしたい。

北信越地区
交流集会で
のスナップ



中国四国九州地区にて

次のページの下段でも若干紹介しています。

東日本大震災救援募金へのご協力ありがとうございました。

3月に発生した東日本大震災の被災地の復興に育英友の会として少しでも役に立ちたいとの考えから、前回発行の会報（5月1日付け第115号）の紙面を使って救援募金を呼び掛けたところ、多くの会員の皆様から善意の寄付が寄せられました。

寄せられた浄財は282,550円となり、全額を日本赤十字社に寄託したことをご報告申し上げます。ご寄附いただいた皆様！！ほんとうにありがとうございました。被災地住民の皆様の生活再建に、少しでもお役にたつことを願っております。

がんばろう日本！がんばれ東北！！

以下、前ページに引き続き留学生・奨学生地域交流集会の様子をご紹介します。

感想文

Kさん（北海道・東北地区。日本人学生）

（左下から続く）

これまで国際交流になんとか興味があって、なんとなく海外に思いを馳せていたけれど、行動に移したのは今回が初めてでした。

国も、年齢も、住んでいる場所も違う人に会うのはとても緊張したけれど、だからこそ色々な経験や考えを聞くことができたくさんの刺激を受けたし、普段では築くことのできない貴重な絆を得ることができたと思います。

絆という形のないものについて考えるのは難しかったけれど、苦労しながら意見を出し合って班で一つの形にするのは本当に楽しかったです。楽しくて楽しくて、3日間があっという間でした。

（右上へ続く）

今回仲間から学んだこと、受けた刺激はこれからの私のパワーにします。やりたいこと、できることを考えて、毎日を大切に、積極的に行動していこうと思います。交流会に参加して本当に良かったです。今回みんなと築いた絆はずっと大切にしていきます。

東海地区交流集会でのスナップ



大会報告

2011年5月21日(土)～22日(日) 東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて大会が開催されました

2010年度活動報告

1. 総務関係
 - (1) 大会・理事会の開催、議事録を作成
 - (2) 会員管理、顧問・参与の推挙
2. 事業関係
 - (1) 留学生・奨学生交流集会を開催
 - (2) 関東地区単独で小規模な交流集会を実施
3. 広報関係
 - (1) 会報及び支部報の発行、送付
 - (2) 育英友の会ホームページ、ドメインの管理
4. 財務関係
 - ・ 2010年度決算報告
5. 会計監査報告

2011年度活動計画

1. 総務関係
 - (1) 東日本大震災に対する救援募金の実施
 - (2) 大会・理事会の開催について
2. 事業関係
 - ・ 留学生・奨学生地域交流集会の開催
3. 広報関係
 - (1) 会報及び支部報の発行
 - (2) ホームページ、独自ドメインの管理・活用
 - (3) 宿泊施設との契約について
4. 財務関係
 - ・ 2011年度予算案

友の会あてメールへのお願い

育英友の会あてに、日本学生支援機構の奨学金についての相談、問い合わせのメールをいただくことがあります。

申し訳ございませんが育英友の会は、日本学生支援機構とは別の団体です。

奨学金に関するお問い合わせについては、日本学生支援機構のホームページ「よくある質問」

http://www.jasso.go.jp/saiyou/q_and_a.html
ご確認ください。

育英友の会からの回答は御容赦願います。

友の会への問い合わせ

育英友の会事務局には、常駐する関係者がおりません。申し訳ございませんが、お問い合わせなどは、下記あて先までメールでお願いします。

refer-itomo@ikueitomonokai.jp

住所が変わられた方も、メールでお知らせくださるようお願いいたします。

育英友の会ホームページアドレス

育英友の会ホームページ <http://www.ikueitomonokai.jp>

北海道支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokkaido/
東北支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tohoku/
関東支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kanto/
北信越支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokushinetsu/
東海支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tokai/
近畿支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kinki/
中国四国支部	http://www.ikueitomonokai.jp/chushikoku/
九州支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kyushu/

